

平成22年11月18日

あきる野市議会議長 殿

あきる野市議会議員 戸沢弘征

一般質問通告書

次の事項について、会議規則第63条第2項により質問の通告をします。

質問事項	質問要旨（箇条書）
(1) 市民の暮らし優先の新年度予算編成について	<p>景気の低迷と雇用不安、社会保障の改悪により先行き不安要因があるため、国民・市民の購買力が冷え切っている。新年度予算編成に於いて、市民の暮らし応援の政治姿勢が強く求められている。予算確保及び税収入の見通しと、新年度の重点施策について。</p> <ul style="list-style-type: none">① 法人市民税の見通しをどのように受け止めているか問う。② 地方交付税、特別交付税を増やす努力について問う。③ 土地開発公社の草花南小宮の土地を買戻し計画について問う。④ 普通財産の処分についての見通しと効果的な処分方法を問う。⑤ 市民の暮らし応援に対する重点施策について問う。<ul style="list-style-type: none">ア 生活保護級地引き上げの努力について。イ 生活資金貸付の引き上げの努力について。ウ 育英資金活用、就学援助制度などや減免制度など各種セーフティネットの制度紹介について。エ 国や都に求めている市民の暮らし応援の施策について。オ 秋川駅北口をはじめ町工場など中小・零細企業への支援策について、どのような施策を考えているかについて。
(2) 「介護ボランティアチケット制度」の仕組みづくりの提案について	<p>稲城市などにおいて「介護ボランティア制度」があると聞く。介護保険制度では一人暮らしのお年寄りや高齢夫婦を見守る仕組みがない。地域での介護ボランティア活動の仕組みづくりが求められている。「介護ボランティア制度」について市の対応を問う。</p>
(3) 市民健診の充実について	<p>今までの市民健診制度から、予防・メタボリックシンドロームなどの生活指導が重点となり、検診の内容が不十分だとの声が市民から聞かれる。市民の健康管理と健康診査について市の考えを問う。</p>

--	--